

# 事業を通じた 価値創造

いつ何時でも安定した情報通信サービスを提供することはもちろん、社員の一人ひとりがお客さまにとって身近な存在と認識していただけるようサービス品質を高め、社会から期待されている「安心・安全な社会づくり」に励んでいきます。



## お客さまに対する価値創造

### フレッツ光サービス

ブロードバンド・ユビキタス社会の実現に欠かせない重要なインフラとして、通信事業者のアクセスポイントからエンドユーザーまでの間を光ファイバーケーブルで結び、情報通信サービスを提供する光アクセスサービスです。

NTT西日本では、次世代ネットワーク(NGN)ならではの利便性と信頼性を兼ね備えた「フレッツ 光ネクスト」に加え、2012年1月から2段階定額サービス「フレッツ 光ライト」の提供を開始。お客さまのニーズに合わせたサービスを提供することにより、2011年度末にはフレッツ光サービスの契約数が約721万件になりました。

今後のさらなる普及促進に向けて、お客さまにとって“魅力的な”サービスの提供に取り組んでいきます。

\* サービス提供エリアであっても、設備の状況などによりサービスのご利用をお待ちいただいたり、サービスをご利用いただけない場合がございます。サービス提供エリアにつきましては、お問い合わせいただくかもしくは弊社ホームページにてご確認ください。  
関連リンク: フレッツ 光ネクスト サービス提供エリア  
<http://flets-w.com/next/area/>

### ソリューションサービス

法人ビジネス分野については、自治体や企業の経営課題を解決へと導くさまざまなソリューションを提供させていただきました。

とくに、東日本大震災をきっかけとした防災・BCP(事業継続計画)ニーズの高まりに対応するため、住民への情報伝達システムや防災情報システムなどの防災ソリューションの拡充に積極的に取り組みました。

また、健康・福祉、観光・交通、環境などの特定分野に特化したソリューションを展開し、環境分野においては、消費電力を可視化する「エネルギー見える化ソリューション」の拡充に取り組みました。

今後は、さらにお客さまニーズに対応したサービスを提供していきます。

### クラウドサービス

昨今、全国的に光アクセスサービスなどの高速インフラ整備が進み、ブロードバンドネットワークの契約数が年々増えています。<sup>※1</sup>また、スマートフォンなどのモバイル端末や、その他情報機器の普及も進んでいます。<sup>※2</sup>そのようななかで、システム導入に関する設備投資や導入後の運用負荷の低減などの観点から物理的なIT資産を所有せず、サービスとして利用するクラウドコンピューティングの導入に意欲を見せる企業が増えています。<sup>※3</sup>

一方、ネットワーク経由のサービス利用は、情報流出、サイバーテロなどのリスクにさらされる可能性があり、多くの企業がBCPの観点から、データ保全やセキュリティなどの対策を実施しています。<sup>※4</sup>

このような状況のなか、NTT西日本は、長年にわたり、通信キャリアとして電話・光IPサービスを提供するなかで培ってきた「安心・信頼」の運用実績やノウハウを活用し、「Bizひかりクラウド」を2011年3月より提供開始しました。「Bizひかりクラウド」とは、NTT西日本グループが提供する「安心・信頼」のクラウドサービスを体系化したものです。

※1 平成22年版 情報通信白書 ブロードバンドの利用状況より  
<http://www.soumu.go.jp/johotsusintokei/whitepaper/ja/h22/html/me411200.html>

※2 平成21年度版 通信利用動向調査(世帯編) 携帯電話(PHS、携帯情報端末(PDA)なども含む)の保有状況より  
[http://www.soumu.go.jp/johotsusintokei/statistics/pdf/HR200900\\_001.pdf](http://www.soumu.go.jp/johotsusintokei/statistics/pdf/HR200900_001.pdf)

※3 総務省「スマート・クラウド研究会報告書」(2010年)クラウドサービスの市場規模より  
[http://www.soumu.go.jp/main\\_content/000066036.pdf](http://www.soumu.go.jp/main_content/000066036.pdf)

※4 平成22年度 情報通信白書 企業におけるセキュリティ対策の実施状況より  
<http://www.soumu.go.jp/johotsusintokei/whitepaper/ja/h22/html/me412400.html>

TOPICS  
2011

## クラウドサービスを利用した 遠隔健康指導のトライアル実施

近年、高齢化によって医療費は高騰しており、多くの企業健康保険組合が赤字経営となっています。今後、企業の健康保険制度を維持していくためには、疾病管理や予防施策の推進による医療費削減が急務と言われており、そのためにも疾病管理や予防施策を推進するICTの活用が期待されています。

こうしたなか、NTT西日本グループと淀川キリスト教病院様は、企業健診の特定保健指導において、クラウドを用いた遠隔健康指導の有効性の証明や新たなサービス開発を目的に、テレビ電話を活用したクラウド型「遠隔健康指導」のトライアルを実施することになりました。<sup>※</sup>

淀川キリスト教病院様は、企業健診の特定保健指導プログラムに「遠隔健康相談サービス」を組み込むことで、要指導者の日々の健康情報を効率的に収集、見える化すると

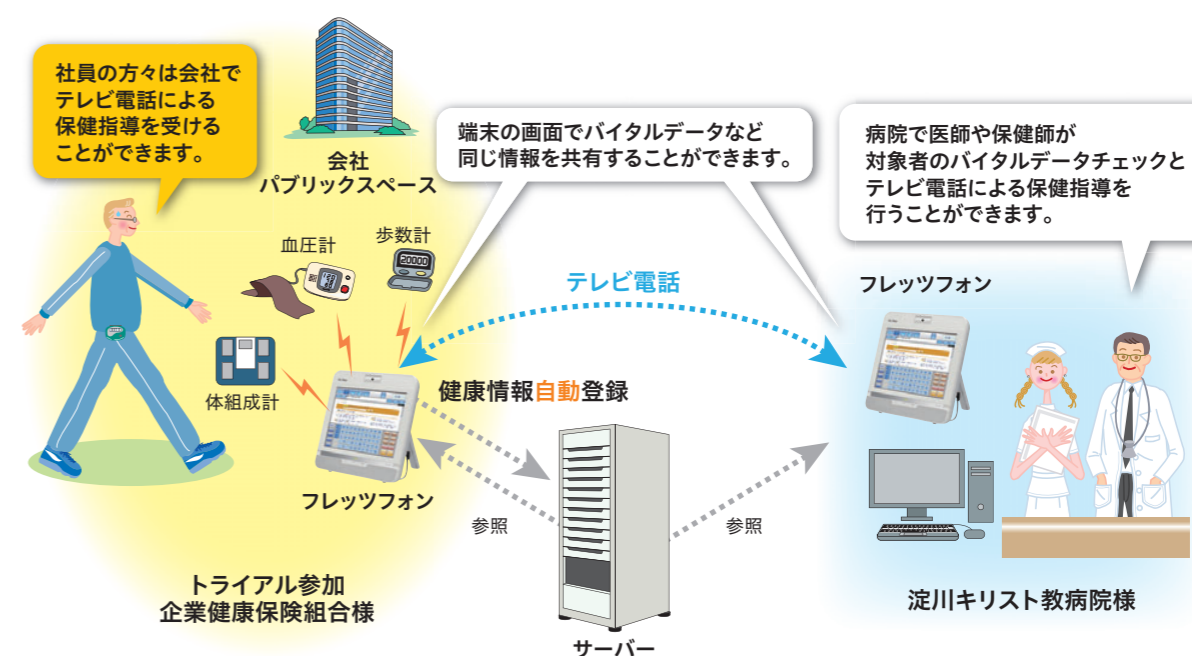
もに、より適切に指導するための基礎データとして蓄積します。また、テレビ電話による遠隔健康指導によって、要指導者の健康に対する意識の定着および双方の稼働軽減の効果などを検証します(詳しくは下図)。

また、NTT西日本グループは、高品質な次世代ネットワークを活用した「フレッツ 光ネクスト」「ひかり電話」「フレッツフォン」などのサービスや機器を活用して、特定保健指導の効率化や日々の健康情報の蓄積による高品質な健康診断・相談、そして健康増進や疾病予防ができる仕組みづくりの実現に向け、「遠隔健康相談サービス」を提供します。

今後は、淀川キリスト教病院様や参加企業健康保険組合様のご意見を聞きながら、本トライアル期間中、円滑でかつ高品質な健康指導を実現するシステムニーズの把握、健康情報端末を利用した通信の動作検証を実施していきます。

### トライアル参加企業様向け特定保健指導プログラム

社員の方々は会社で、テレビ電話による保健指導を受けることができます。(ただし、初回面談および採血、最終面談については病院にて実施)



※ 企業健康保険組合に対するクラウドサービスを利用した遠隔健康指導の有効性検証に向けたトライアルの実施について  
[http://www.ntt-west.co.jp/news/1202/120221a\\_1.html](http://www.ntt-west.co.jp/news/1202/120221a_1.html)